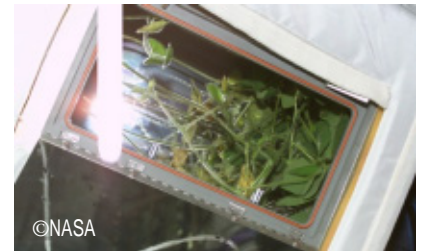


“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

**最初のISS構成要素打上げから1355日経過しました
第5次長期滞在クルーのISS滞在は60日経過しました**

ISS動向

第5次長期滞在クルーは米国実験棟「デスティニー」内で結晶成長実験や植物成長実験などの科学実験を引き続き行っています。そのうちの一つである大豆の成長実験で花が咲いたことが初めて確認されました。その他、ISSのロボットアームの確認試験や、プログレス補給船の推進システムを作動させて軌道高度を約8km上昇させました。現在のISS軌道高度は約396kmです。



植物成長実験装置内の大豆の様子

これからの予定（米国時間）

- ・ 8月16日 5次クルー1回目の船外活動
（ズヴェズダヘデブリ防護パネルの取付けとロシアの材料曝露実験装置の取付け）
- ・ 8月22日 2回目の船外活動
（NASDAの微小粒子捕獲・材料曝露装置の1回目の回収、ザーリャの冷媒ポンプ外側パネルの交換）
- ・ 9月28日以降 スペースシャトル・アトランティス号打上げ(アメリカ)
（ISSへS1トラスの取付け）
- ・ 11月2日以降 スペースシャトル・エンデバー号打上げ(アメリカ)
（ISSへP1トラスの取付け、第5次クルーと第6次クルーの交代）

“お知らせ”

スペースシャトル「コロンビア号」は11月打上げへ

宇宙開発事業団がタンパク質結晶成長実験やラットのサンプル・シェア研究を行うスペースシャトル「コロンビア号」（STS-107）の打上げを11月29日以降とすることがNASAから正式に発表されました。「コロンビア号」は他の機体と同様にメインエンジンへの配管内にひび割れが見つかり、打上げが延期されていたものです。

今回「コロンビア号」には宇宙開発事業団が行う実験に加えて、宇宙実験教育プログラムに参加している全国の高校生チームから選ばれた「宇宙実験チーム」6チームのタンパク質結晶成長実験が行われます。

宇宙開発事業団の実験に関する詳しい情報は下記アドレスを参照ください。
<http://jem.tksc.nasda.go.jp/shuttle/sts107/index.html>



NASDAタンパク質結晶成長実験マーク

“トピック”

筑波宇宙センターで「サマースクール」を開催しました

筑波宇宙センターでは、18歳以上を対象としたサマースクールを毎年開催しています。今年は31人の学生・社会人が7月31日(水)から8月2日(金)にかけて参加しました。

国際宇宙ステーション、人工衛星、研究開発制度、宇宙環境での蛋白質研究や宇宙医学などに関する講義のほか、宇宙開発に関して参加者同士のアイデアを交換するディスカッション、星出宇宙飛行士と有人宇宙活動の必要性について話し合うコーナー、サマースクールを修了して宇宙開発事業団に入った職員との座談会、モデルロケットの製作・打上げなど、盛りだくさんの内容で充実した3日間になりました。最終日には「今後の宇宙開発に望むもの」というテーマで、5つの班に分かれて討議・発表を行いました。スクールは短い期間で終わってしまいましたが、新しい仲間とこれからの宇宙開発をさらに深く考えていくきっかけとなったようです。



2002年サマースクールに参加された方々
（最前列左から3人目は星出宇宙飛行士）

問い合わせ先：宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 0298-68-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。